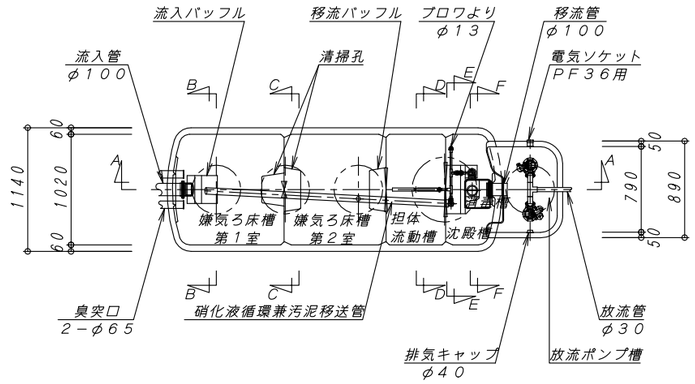
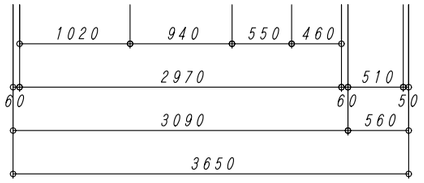
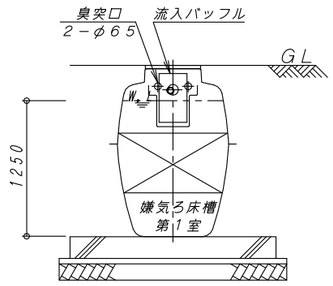
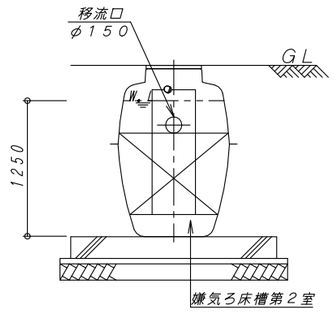


平　面　図　1：40





B−B　断　面　図　1：40



C−C　断　面　図　1：40

建築基準法第６８条の２６第１項の規定に基づき、同法施行令第３５条第１項の大臣認定による嫌気ろ床担体流動循環方式		
型式認定	認定番号	５－１６Ｋ－Ｈ－００１－１
	認定年月日	平成２８年１０月１日
型式適合認定	認定番号	型０１Ｃａｄ０ａ００７４１７７
	認定年月日	平成２４年１月１３日
型　式		ダイエー浄化槽　ＦＤＲ７型
処理対象人員		７人
日平均汚水量		１．４ｍ³／日
流入水質		BOD200mg/L SS160mg/L T-N45mg/L
放流水質		BOD 10mg/L SS 10mg/L T-N10mg/L

容　量　表

項　目	設　計　容　量
嫌気ろ床槽第１室	１．０７０　ｍ³
嫌気ろ床槽第２室	１．０４９　ｍ³
担体流動槽	０．６２７　ｍ³
沈殿槽	０．４２０　ｍ³
消毒槽	０．０２３　ｍ³
総容量	３．１８９　ｍ³
放流ポンプ槽	０．０５１　ｍ³

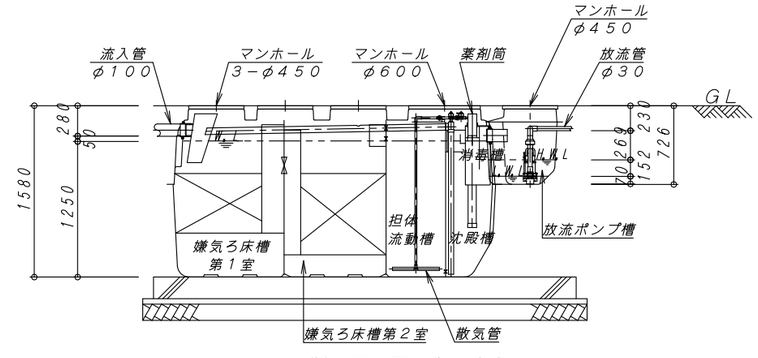
機器仕様表　（単相・１００Ｖ）

機器名	口　径	入　力（50／60Hz）	吐出量（50／60Hz）	台　数
ブロワ	φ１３	51W以下	0.08 m³/min	１台
放流ポンプ	３２Ａ	130W以下	0.08 m³/min	２台

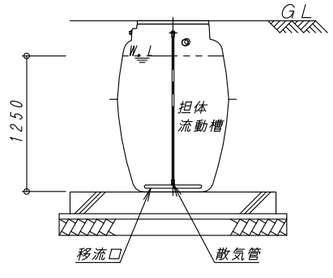
放流ポンプ槽排気管について

下記の処理を怠ると、浄化槽内で発生する塩素ガス等が浄化槽内および電線管の接続先付近に設置している機器類を腐食させて、機器の破損、故障を生ずる恐れがあります。
注１）放流ポンプ槽の排気管は必ず接続して下さい。
注２）排気管の放出先は、側溝の最大水位より上に設置して下さい。設置位置の目安は側溝の最大水位より100ｍｍ以上、上部とします。
注３）排気管は途中で水たまりが出来ないように、適切な勾配で配管して下さい。
Ｖ字配管で、配管内が水たまりで水封されると排気管の設置効果がなくなります。
注４）電線管の両端は、シリコンまたはパテ等でコーキング処理を必ず行って下さい。

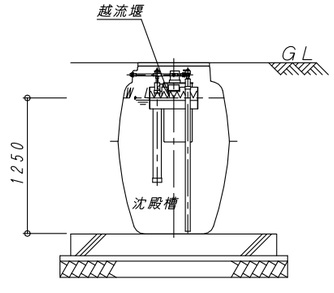
※管理用水栓は１０ｍ以内に設置すること（浄化槽工事範囲外）



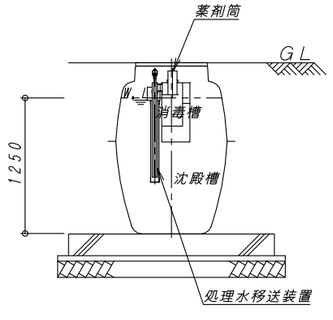
A−A　断　面　図　1：40



D−D　断　面　図　1：40



E−E　断　面　図　1：40



F−F　断　面　図　1：40

No.	内　容	日　付	担当者	承　認	備考：寸法は内寸法とする。
1	認定番号変更	H28.10.1	鋤　柄		
△					
△					
△					

承認	検図	設計	製図
	都築	山下	山下

DAIE　大栄産業株式会社

ダイエー浄化槽　ＦＤＲ７型
構造図　（放流ポンプ槽付）

図番	FDR7H	REV
縮尺	1：40	1
日付	H28．10．1	